

国内グループ会社

RIMTEC

会社紹介

RIMTEC 株式会社は、日本ゼオンの 100%の関連会社として本社を東京に置き、ゼオン水島工場の第二工場内に研究所と子会社ゼオンリムがあります。また、海外に研究開発機能を有する子会社 Telene S.A.S.(フランス)、瑞翁貿易有限公司(中国/上海)、ZCLP(アメリカ)に販売拠点を置いています。

当社の主力事業は、ゼオン水島工場の独自技術によって C5[※]留分より抽出される良質なジシクロペンタジエンを主成分に、RIM 成形(反応射出成形)用の配合液 PENTAM[®](ペンタム)、METTON[®](メトン)および TELENE[®](テレン)の配合液開発と販売で、グローバルに展開しています。

RIM 成形は、金型内でジシクロペンタジエンの重合反応と成形を同時に行って大型成形品を生産する独自の技術です。ジシクロペンタジエンを用いた RIM 成形によって得られる樹脂は、熱可塑性樹脂の約半分のエネルギーで成形可能であり、環境負荷の少ない素材です。

※ C5

ナフサの熱分解によって副生する炭素数 5 の炭化水素。合成ゴムや合成樹脂の原料となる成分も含まれる



桜井賢典社長



環境安全活動

1. 省エネへの取り組み

RIMTEC 水島事業所は、子会社ゼオンリムと協力して省エネ活動に取り組んでいます。2012 年度も 2011 年度と同様に、不要不急の照明および機器の停止のほか、産業廃棄物削減への取り組みを行っています。2012 年度は、エネルギー消費効率の劣る設備を撤去したため、一時的に廃棄物が昨年度よりも増加しました。しかしながら、この撤去作業により今後はさらに 10%の削減が可能となりました。今後もさまざまな活動を通じて地球環境に貢献していきます。

2. 地球環境の貢献に向けた研究開発

当社の製品によって得られる樹脂は、熱可塑性樹脂よりも省エネに貢献できるため、積極的に研究開発を継続し地球環境に貢献していきます。2012 年度は、中華人民共和国(蘇州市)にて合併式浄化槽の採用が決定しました。省エネと水質確保の両面から地球環境に貢献します。

3. 環境関連データ

RIMTEC(株)		2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	0	0	0	0	0
	使用量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	排出量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	149	48	52	29	52
	埋立処分量(トン)	66	1.9	3.6	3.4	15
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		-	-	-	4.4	3.6
CO ₂ 排出量(トン)		673	213	187	167	188
エネルギー使用量(原油換算、kL)		281	180	160	145	160

地域との共生活動

1. 「おもしろ体験でえ〜」への参加

テクノサポート岡山にて開催される毎年恒例の夏休みイベント「おもしろ体験でえ〜」に岡山大学、日本ゼオン水島工場と共同でブースを出展し、子どもを中心とした約千人のご家族に「プラスチックに変身する不思議な液体」を体験していただきました。

今後もこのような機会を通じ、将来を担う子どもたちに化学の不思議や楽しさを伝えていくことで「ものづくり」への興味を促し、産業の継続的発展に貢献していきます。

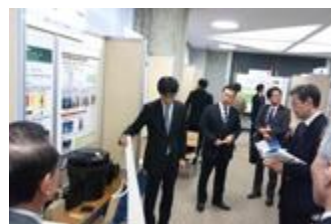


「おもしろ体験でえ〜」に参加した子どもたち

2. 産学連携による研究開発

RIMTEC 水島研究所は、地元岡山大学と共同研究を継続しています。2012 年度は岡山大学主催の「岡山大学 知恵の見本市 2012」に RIMTEC 単独ブースとして研究成果物を出展しました。企業、官庁、大学関係者、学生など多くの方々に来場いただき、RIMTEC ならではの特長ある技術に大変興味を持っていただくことができました。

岡山大学では、産学連携による研究の推進、新技術の開発を通じて、産業への貢献を活発に進めています。当社も引き続き、産学連携による新技術開発に邁進していきます。



「岡山大学 知恵の見本市 2012」での RIMTEC ブース

3. 中国地方での産業創出

2011 年度より産学連携によって得られた成果物をより具体化させるために、岡山大学と公益財団法人ちゅうごく産業創造センターとの定期勉強会を開始しました。この活動を数年間継続しながら、中国地方で生まれた技術をもとに新たな産業創出に向けた活動を進め、地域の活性化につなげていきます。



岡山大学と公益財団法人ちゅうごく産業創造センターとの定期勉強会の様子